



2018年7月20日 第839号

# EUを知る第一歩に

## ～目・EUフレンドシップウィーク開催～



学生制作のパネル展示

5月9日はEU（欧州連合）設立のきっかけとなった、シューマン宣言が発表された日である。この通称ヨーロッパデーの前後に、毎年本学では「目・EUフレンドシップウィーク」が開催されている。本学産業研究所（以下、産研）内のEU情報センターとEUインスティテュート関西が主催し、日本とEU間の絆を深めることが目的だ。

内容は、講演会、本学学生デザインのアートプロジェクト「EUクイズ」、EU加盟国の料理に挑戦する「EUクッキングレッスン」、そしてパネル展示である。特に今回は、少しでも学生がこのイベントを、ひいてはEUを身近に感じ、足を運びやすい内容となるような工夫が凝らしてあった。

中でも、パネル展示においては、初の試みがなされた。昨年度のEUフィロドスタデーに参加した学生が、パネルの制作をおこなったという。実際に、現地の企業を見た学生の視点で描かれたEUを知る事ができた。

また、産研のアナ・シュラーデ准教授による講演会「EUではたらく」も開催された。国際学部開講のEU地域統合論での授業内講演だが、学部や学内外問わず参加できるものであった。本講演会は、日本とEU諸国の労働者を中心に進められた。学生同士でのディスカッションも行われ、終始和やかな雰囲気であった。また、終盤には英語での講演になるなど、国際学部の授業を兼ねた講演ならではの展開となった。

講演を行なったシュラーデ准教授は、今年から本学で勤務している。主にヨーロッパと日本における経済状況や労働状況に関する比較研究を行っており、最近ではアジア地域にも興味があるという。また、以前勤務校に比べ、本学には英語での会話体験が豊富な学生が多く、シュラーデ准教授自身も満足感を感じているようだ。普段の授業においても、学生が日本以外の国に目を向けることを目的としている。「自国にばかり目を向けては成長でき



講演を行なうシュラーデ准教授



発行部 関西学院大学新聞 総部 ☎662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155 関西学院大学新学生会館3F 電話：(0798) 51-1181 E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp HP: http://kgpress2009.wixsite.com/kgpress2015 Twitter: @kg\_shinbun

今年4月から2名の本学専任事務職員がアドミッションオフィサーに任用され、業務を委嘱された。アドミッションオフィサーとは、高等学校から大学教育への円滑な接続と、大学入試改革を推進する取り組みを加速させること

を目的とした高大接続改革を背景に設置された職務である。アドミッションオフィサーの業務は大きく3つあり、入学者選抜における審査、志願者への助言、そして入試及び学生募集にかかる企画立案だ。このように大学の職員が入学者の選抜に関与するのは、極めて先駆的な事例である。

現在本学の受験生のうち、4割が各種推薦入試によって入学している。アドミッションオフィサーは、緊急かつ重要なお知らせを確認する場所が変わる点だろう。警報発令時や地震の際の指示が、サイト上部から確認できるようになる。これにより、SNSなどの人を介した不確かな情報に頼ることなく、すばやく正しい情報を受け取れるようになる。

現代は、学生のほぼ全員が情報端末を持つようになっている。大学側には今後もインターネットを活用した、さらに便利で効率的な大学運営を期待する。(A・M)

現代は、学生のほぼ全員が情報端末を持つようになっている。大学側には今後もインターネットを活用した、さらに便利で効率的な大学運営を期待する。(A・M)

現代は、学生のほぼ全員が情報端末を持つようになっている。大学側には今後もインターネットを活用した、さらに便利で効率的な大学運営を期待する。(A・M)

- 1面 KGニュース 目・EUフレンドシップウィーク アドミッションオフィサー任用
- 2面 人間福祉学部開設10周年 熊本ボランティア事後活動
- 3面 日進月歩 「連載」追跡!! S.G.U
- 4,5面 「インスタ映え」特集
- 6面 マスターピース 緊急企画「地震に備える」
- 7面 K.G. studio タイムスリップ K.G. PEOPLE
- 8面 K.G. History Introduction

## 入試改革の第一歩

### アドミッションオフィサー任用

今年4月から2名の本学専任事務職員がアドミッションオフィサーに任用され、業務を委嘱された。アドミッションオフィサーとは、高等学校から大学教育への円滑な接続と、大学入試改革を推進する取り組みを加速させること

を目的とした高大接続改革を背景に設置された職務である。アドミッションオフィサーの業務は大きく3つあり、入学者選抜における審査、志願者への助言、そして入試及び学生募集にかかる企画立案だ。このように大学の職員が入学者の選抜に関与するのは、極めて先駆的な事例である。

現在本学の受験生のうち、4割が各種推薦入試によって入学している。アドミッションオフィサーは、緊急かつ重要なお知らせを確認する場所が変わる点だろう。警報発令時や地震の際の指示が、サイト上部から確認できるようになる。これにより、SNSなどの人を介した不確かな情報に頼ることなく、すばやく正しい情報を受け取れるようになる。

## 教学Webサービス リニューアル

現代は、学生のほぼ全員が情報端末を持つようになっている。大学側には今後もインターネットを活用した、さらに便利で効率的な大学運営を期待する。(A・M)

現代は、学生のほぼ全員が情報端末を持つようになっている。大学側には今後もインターネットを活用した、さらに便利で効率的な大学運営を期待する。(A・M)

現代は、学生のほぼ全員が情報端末を持つようになっている。大学側には今後もインターネットを活用した、さらに便利で効率的な大学運営を期待する。(A・M)

現代は、学生のほぼ全員が情報端末を持つようになっている。大学側には今後もインターネットを活用した、さらに便利で効率的な大学運営を期待する。(A・M)

現代は、学生のほぼ全員が情報端末を持つようになっている。大学側には今後もインターネットを活用した、さらに便利で効率的な大学運営を期待する。(A・M)

現代は、学生のほぼ全員が情報端末を持つようになっている。大学側には今後もインターネットを活用した、さらに便利で効率的な大学運営を期待する。(A・M)



パンフレット、記念誌、報告書 制作・編集、デザイン

## 和泉出版印刷株式会社

【本社】 〒594-0083 和泉市池上町4丁目2番21号 TEL: 0725-45-2360(代) FAX: 0725-45-6398 E-mail: info@izumi-syuppan.co.jp

【大阪営業所】 〒540-0026 大阪市中央区本町1-1-6 本町カノヤビル TEL: 06-6946-1073(代) FAX: 06-6946-7684

# 「理論と実践」を徹底した教育

## 人間福祉学部開設10周年



学部長の大和三重教授

今年4月で、本学人間福祉学部は開設10周年を迎えた。ミッション・スクールである本学では、以前から「隣人愛」の精神に基づいた様々な慈善活動が行われていた。1952年には文学部社会事業学が開設され、アメリカのソーシャル・ワークを基にした専門教育が始まった。その後、社会学部社会福祉学科を経て、2008年4月に現在の人間福祉学部が誕生した。学部は、社会福祉学科、社会起業学科、人間科学科の3学科から構成されている。学部創設時には、Compassion（人への思いやり）、Comprehensiveness（幅広い視野）、Competence（高度な問題解決能力）からなる「3つのC」を学部全体の目標として掲げた。

人間福祉学部の大きな特徴は「理論と実践」を徹底している点だ。講義で学んだことを現場で生かしていく「実践教育」を掲げている。学部生に対しては、実践教育支援室を設けてサポートを行うなど、学生の支援にも積極的だ。学部長の大和三重教授は「今では全学的に取り組んでいるハンズオン・ラーニング事業ではあるが、人間福祉学部はその先駆けだった」と胸を張る。また、演習を中心に少人数クラスが多く、学生と教員の距離が近いのも大きな特徴である。



「ブラウン・バッグの集い」にて

最後に、大和教授は「人間福祉学は、人間の内面に入り込む性格を持っている。学部生にはコミュニケーション能力や共感力を身につけて、混沌とした社会で貢献していく人となってほしい」と語った。本学のスクールモットーである「Mastery for Service」を強く体現する学部として、人間福祉学部はこれからも本学で輝き続けるだろう。(T.N)

# ラジオでつなぐ熊本の教訓

## 熊本ボランティア事後活動

行った活動の報告に加え、熊本の現在の状況を伝えるものになるという。

熊本地震現地ボランティアは、2016年4月の熊本地震に対して、学生たちの「被災地のために何かしたい」という声から始められた。2016年の7月に始まり、これまでに9回の活動を行っている。今回のラジオ番組の制作



ミーティングの様子

は、社会学部の関寛寛教授が発案した。関教授は、熊本地震現地ボランティアをはじめ、授業でボランティア活動についてのことを扱っている。今回の熊本地震現地ボランティアでは、参加できなかった学生のためにも、事後活動として大学で何かできるかを考えた。関教授には、西宮市のラジオ局であるさくらFMに知人がいた。そのつな

# 挑戦が実った新たな一歩

## 劇団狸寝入二回生実験公演

6月15日から17日にかけて、旧学生会館ママ上ホールにて、劇団狸寝入による二回生実験公演「お陰様で今日もメシが美味い」が上演された。本作の物語は学生に身近なスマートフォンを題材にしている。スマホを通して対人関係から主人公達を誰よりも知っているというスマホ達、それぞれになり替わろうとする流れで話が進んでゆく。

脚本・演出を担当した否かるキさん(理・2)は「学生による学生らしい物語にしたい」と思い、この脚本を作った。人から見た自分と本当の自分とは何なのか、日常の中の幸せとは何かを劇を通して振り返ってもらえれば」と語った。劇団狸寝入は、この実験公演を機に新たにヘアメイク部所を作るなど、多くの試みを行っている。その一方で4月



無事公演を終えて

田キャンパスに分かれていることもあり、役割を分担して作っているようだ。ラジオというメディアを通して被災地で体験したことを、学生の声で行われた新入生歓迎公演から、準備期間が一月ほどしかなく、練習や舞台の調整に追われる日々が続いたという。問題は多かったが、悩むよりまず始めること、二回生を始め部員全員で公演を楽しむことを目標に一歩一歩積み重ねていったようだ。主人公のスマホを演じた北枕すめさん(文・2)は「準備不足で自分の演技に不満のある部分もあったものの、最終日にはアドリブでセリフを入れることで自分の表現したいことができた。初めての照明チームの仕事も難しくはあったが、先輩方の後押しもあって無事終えられたことに感謝したい」と話す。今回の公演を終えた劇団狸寝入は、秋に新一回生のデビュー公演を予定している。詳しい情報は「Twitter」にて更新中だ。新入部員も随時募集しているので、気になる人は今から参加してみたいかだろうか。

**関西学院大学**  
**新聞総部**  
 KG PRESS  
 HP: <https://kgpress2009.wixsite.com/kgpress2015>  
 Twitter: @kg\_shinbun  
 Facebook: 「関西学院大学新聞総部」  
 Mail: [kgpress2009@yahoo.co.jp](mailto:kgpress2009@yahoo.co.jp)

**ご協力ありがとうございました**  
 ~「夏の献血週間」が無事終了しました~  
 6月14日・15日@神戸三田 / 6月18日~22日@西宮上ヶ原  
 おかげさまで合計630人の関学生にご協力いただきました。天候に恵まれない一週間でしたが、多くの方々にご協力いただき、心から嬉しく思います。輸血を受けた患者さんから直接伝えられない「ありがとう」を私たちがかわりに届けます。ありがとうございました！  
 秋の献血週間は、10月1日~5日の予定です。  
 ご協力をお願いします。  
 宗教総部献血実行委員会

# 論説 日進月歩 『相互に配慮して 正しいボランティアを』

2020年に実施予定の東京五輪まであと2年になるという。夏季では二度目、場所も同じ東京での開催とあって、多くの人が熱い視線を向けているはずだ。  
だがその雲行きは怪しい。膨れ上がる開催費の問題も指摘されているが、今年3月に大会組織委員会が公開した東京五輪ボランティアの募集要項が多くの批判を受けたこと、6月11日に修正された。公表時点で「参加条件が厳しすぎる」「やりがい搾取ではないか」といった批判が多く生まれ、それを受けた今回の修正であるが、大きな修正には至らず、いまだ批判が根強い。この批判の大本とは何なのか。

多くの要因が挙げられるだろうが、一番の点は委員会が批判に対する反論として「他では決して得られない感動を体験する貴重な機会がある」と主張する点にある。  
一般にボランティアとは自発性・無償性・公益性を柱とする社会的奉仕活動である。その活動は「自己欲求から生じるきっかけ」から始まり、活動の中で「他者との関わり合いの内に利他主義的メンタリティが満たされる」と「自己の喜びである内発的報酬が得られる」ことで更なる内発的報酬を獲得するという欲求が生じ、新たな奉仕活動へとつながってゆく。これがボランティアの基礎原理だ。

この原理から見れば、東京五輪のボランティアの募集は確かにボランティアと言えよう。貴重な体験を得ることや、自身を世の役に立てたいなどの様々な欲求からボランティア活動へ自発的に参加し、無償で働き、東京五輪という公益のために奉仕する。そのなかで観光客と関わり利他主義的なメンタリティが満たされる、内発的報酬が得られることもあるだろう。

にもかかわらず批判が生まれるのは、先ほどの「他では決して得られない感動を体験する貴重な機会」とのアピールから委員会の「ボランティアで助けてほしい」という感情が見取れるからに違いない。この「ボランティアで助けてほしい」と「ボランティアに助けてほしい」という意識の違いは大きい。後者のボランティアには「だれでも良いので我々を助けてくれる余力のある人」という意味が込められているのに対して、前者のボランティアには「だれでも良いので無料で働いてくれる人」といった意味が込められているのだろうか。ボランティアは確かに無償であるが、受ける側が無償性を要求すると、参加者の自発的な無償性が損なわれ、たとえ参加者が納得したとしてもその活動は完全な自発性を失う。ボランティアがボランティアであるためには受ける側が、やりがいを餌に参加者へ無償の奉仕を要求してはならないのだ。

一方で東日本大震災や熊本地震でもボランティアの募集が幅広く行われ、多くの人々が現地の厳しい環境の中ボランティア活動に従事したが、今回のような批判はほとんどなかった。これは東京五輪の募集と異なり、現地の人々が彼らなりにやれることをやっていたうえで「だれでも良いので我々を助けてくれる余力のある人」としてボランティアを募集したからであろう。  
無償の奉仕を要求しながら、さらに各種の専門技能を参加者に求める委員会の姿勢は、正当な対価を支払わず社員を酷使するブラック企業に通じるところがある。この批判を収めるには、委員会側がまず十分な大会職員を自身で用意したうえでボランティアの募集を行い、やりがいではなく共に大会を作り上げるという貴重な体験の共有を呼びかける必要がある。

このようにボランティアを受ける側には、それが健全なボランティアとなるために注意すべきことは多い。だが、ボランティアを受ける側だけが注意すればよいのではなく、ボランティアに参加する側にも求められるものがある。  
先日生じた平成30年7月豪雨では、多くの被害が生じた。これを受けて被災地には日本各地から救援物資が官民問わず送られたが、岡山県倉敷市では個人からの支援物資が真備町川辺橋前に置き去りにされ、自衛隊の救助の妨げになるという事態が起きたことは記憶に新しいだろう。東日本大震災でも不要な物資の押し付けや、自発的に被災地へ行ったものの宿泊地や食料の用意をせずに避難所の物資を圧迫するモンスターボランティアの姿が問題となった。

このようにボランティアの精神に則ったつもりで自発的に行動したものの、現場の問題を鑑みず自己中心的な活動を行った結果、現場の負担となってしまうことは少なくない。ボランティアは受ける側が必要とされ、双方の合意によって初めて成り立つものなのだ。行う側の「ボランティアをしてやっている」といった上から目線の行為は現場において論外であり、そのような人はボランティアをしないことこそが被災地のためになるといえる。

このような双方の思い違いを減らすためには、受ける側が自身ではどうしようもない事柄を積極的かつ明確に外部へと発信し、行う側はそれらを知るために情報を集め、ニーズにあった行動をとらなければならぬ。もし適切な判断が難しければ、ボランティア中継団体などの熟練者を通してその善意を発揮するべきだ。  
ボランティアは双方の配慮によって初めて成り立つ。受ける側も行う側もそれぞれの活動を常に振り返り、双方に益のある真のボランティアとなるように努力しなければならない。

## 追跡!! SGU 第20回

### 「トビタテ!留学JAPAN」を知っていますか?



「トビタテ!留学JAPAN」とは2013年10月、文部科学省は、学習意欲と能力のある全ての若者が、海外留学を新しいチャレンジに自ら踏み出すことを目的とする「トビタテ!留学JAPAN」を開始した。

このプロジェクトは、政府だけでなく、社会全体で海外留学の促進に取り組むことにより、大きな効果が得られるものである。また、官民共同のこのプロジェクトには、各分野の人々や民間企業からの支援や寄附などにより運営されている。

「トビタテ!留学JAPAN」の最終目標は、東京五輪・パラリンピック競技大会が開催される2020年までに大学生の海外留学12万人(現状6万人)、高校生の海外留学6万人(現状3万人)への倍増だ。  
本学は、このプロジェクトに第2期から採用者を輩出し、これまでに47人もの学生が採用されている。「この人数は、西日本の私立大学で最も多いです」と北澤さんは語る。



本学のスーパードグローバル大学事業についてシリーズでお伝えしている「追跡!! SGU」。今回は、SGU事業5つのキーワードのうちの1つである、「協定に基づく海外派遣学生数日本一」に関係する本学の取り組みを紹介する。

「トビタテ!留学JAPAN」の最終目標は、東京五輪・パラリンピック競技大会が開催される2020年までに大学生の海外留学12万人(現状6万人)、高校生の海外留学6万人(現状3万人)への倍増だ。  
本学は、このプロジェクトに第2期から採用者を輩出し、これまでに47人もの学生が採用されている。「この人数は、西日本の私立大学で最も多いです」と北澤さんは語る。

「トビタテ!留学JAPAN」の最終目標は、東京五輪・パラリンピック競技大会が開催される2020年までに大学生の海外留学12万人(現状6万人)、高校生の海外留学6万人(現状3万人)への倍増だ。  
本学は、このプロジェクトに第2期から採用者を輩出し、これまでに47人もの学生が採用されている。「この人数は、西日本の私立大学で最も多いです」と北澤さんは語る。

「トビタテ!留学JAPAN」の4つのコース  
この「トビタテ!留学JAPAN」には、理系、複合・融合系人材コース、新興国コース、世界トップレベル大学等コース、多様性人材コースの4つのコースがある。文

「トビタテ!留学JAPAN」の奨学金  
冒頭にも記述したが、この「トビタテ!留学JAPAN」は、金銭面で不安を抱える学生も参加できる制度である。主な奨学金として、月に6万16万円(経済状況、留学先によって異なる)、留学準備金として15万25万円が支給され

「トビタテ!留学JAPAN」の奨学金  
最後に、北澤さんは「このプロジェクトは、学力や語学力を超えて自分が留学を通して何を成し遂げたいかという将来のビジョンが重視されます。留学に行きたくても金銭面が心配な人であっても自分が成し遂げたいことをしっかりとアピールできる人はぜひチャレンジしてほしいです」と申込みを促した。

「トビタテ!留学JAPAN」に参加するには  
このプロジェクトに参加するためには、留学計画書の提出が必須である。留学計画書とは、自身が留学先で具体的に何を行うか、留学のゴールは定まっているか、実現可能性などを具体的に記載したものである。これに沿って一次選考が行われる。合格者は文部科学省で、二次選考である面接に進む。

「トビタテ!留学JAPAN」に参加するには  
このプロジェクトに参加するためには、留学計画書の提出が必須である。留学計画書とは、自身が留学先で具体的に何を行うか、留学のゴールは定まっているか、実現可能性などを具体的に記載したものである。これに沿って一次選考が行われる。合格者は文部科学省で、二次選考である面接に進む。

「トビタテ!留学JAPAN」に参加するには  
このプロジェクトに参加するためには、留学計画書の提出が必須である。留学計画書とは、自身が留学先で具体的に何を行うか、留学のゴールは定まっているか、実現可能性などを具体的に記載したものである。これに沿って一次選考が行われる。合格者は文部科学省で、二次選考である面接に進む。

「トビタテ!留学JAPAN」の奨学金  
冒頭にも記述したが、この「トビタテ!留学JAPAN」は、金銭面で不安を抱える学生も参加できる制度である。主な奨学金として、月に6万16万円(経済状況、留学先によって異なる)、留学準備金として15万25万円が支給され

「トビタテ!留学JAPAN」の奨学金  
冒頭にも記述したが、この「トビタテ!留学JAPAN」は、金銭面で不安を抱える学生も参加できる制度である。主な奨学金として、月に6万16万円(経済状況、留学先によって異なる)、留学準備金として15万25万円が支給され

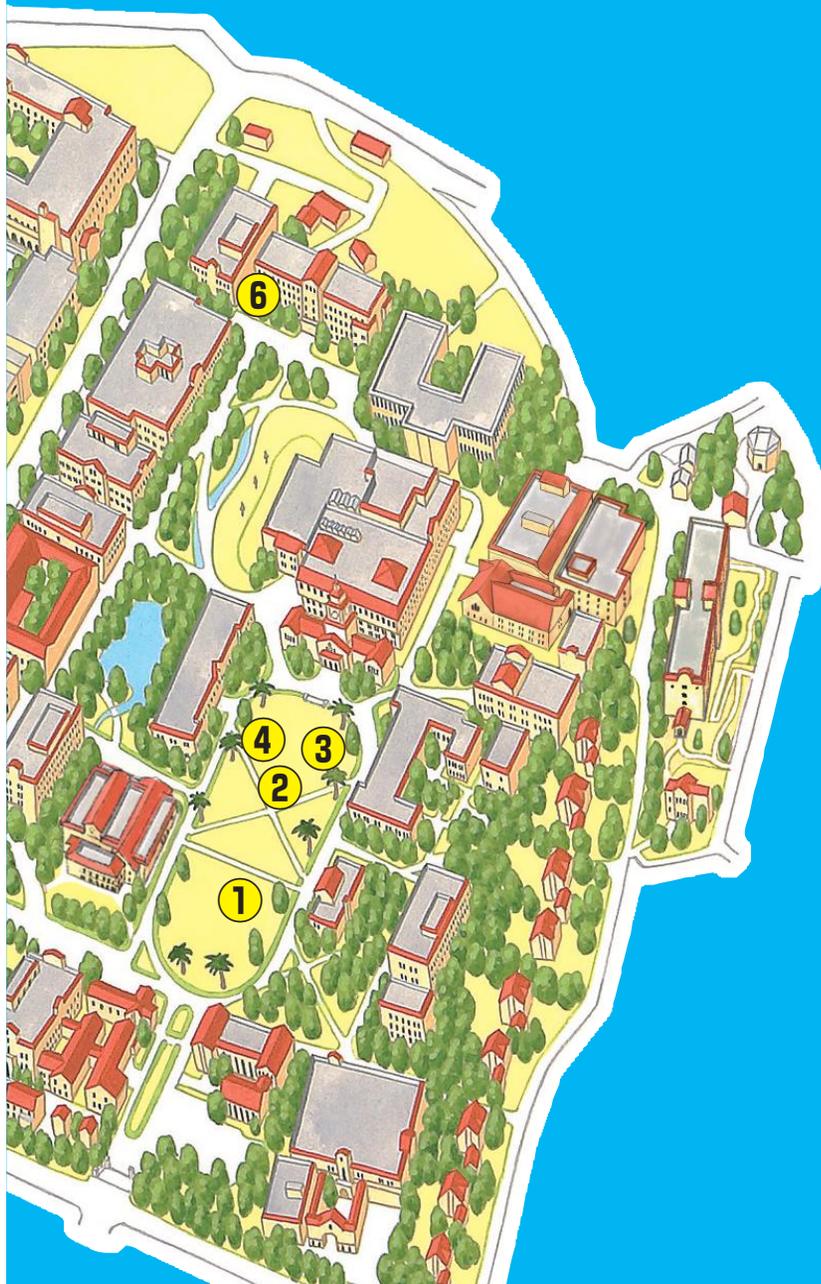
「トビタテ!留学JAPAN」の奨学金  
冒頭にも記述したが、この「トビタテ!留学JAPAN」は、金銭面で不安を抱える学生も参加できる制度である。主な奨学金として、月に6万16万円(経済状況、留学先によって異なる)、留学準備金として15万25万円が支給され

「トビタテ!留学JAPAN」の奨学金  
冒頭にも記述したが、この「トビタテ!留学JAPAN」は、金銭面で不安を抱える学生も参加できる制度である。主な奨学金として、月に6万16万円(経済状況、留学先によって異なる)、留学準備金として15万25万円が支給され

「トビタテ!留学JAPAN」の奨学金  
冒頭にも記述したが、この「トビタテ!留学JAPAN」は、金銭面で不安を抱える学生も参加できる制度である。主な奨学金として、月に6万16万円(経済状況、留学先によって異なる)、留学準備金として15万25万円が支給され

「トビタテ!留学JAPAN」の奨学金  
冒頭にも記述したが、この「トビタテ!留学JAPAN」は、金銭面で不安を抱える学生も参加できる制度である。主な奨学金として、月に6万16万円(経済状況、留学先によって異なる)、留学準備金として15万25万円が支給され

# 「インスタ映え」特集



昨年の流行語にもなった「インスタ映え」。美しいキャンパスを持つ本学でも実践するべく、流行に乗ってってみました。女性部員が増えた今年、モデルの確保にも問題なし。新聞総部の部員が「インスタグラマー」に成りきる姿をどうぞご覧ください。



## 夕方のキャンパスで

太陽は西に傾き、夕闇はもうそこまで来ている。夕日のオレンジ色を浴びて、淡く色づいた雲と、未だ昼間の明るさを残したまま彼方へと続く青空。季節は春。午後6時過ぎの空を切り取ってみた。

本学西宮上ヶ原キャンパスのメインスポットともいえる時計台に背を向け、中央芝生もそっちのけで、画面の大半に春の夕暮れを写した一枚である。いつも見ている空が、特に美しいと感じられるのはやはり夕方だろう。昼と夜の狭間のひと時に、刹那の美しさがある。

阪急甲東園駅からの険しい坂を登りきった先に位置する本学から見る空は、いつもよりほんの少し近くを感じられるのではないだろうか。友達と話しながらの帰り道。ふとした瞬間に心に留まった夕暮れを写真に収めてみるのはどうだろうか。その時々で異なる夕暮れが、きっとあなたを癒してくれるはずである。



## 時計台の前でジャンプ!!

本学西宮上ヶ原キャンパスの人気スポットといえば、やはり中央芝生である。そこで今回は、ほんの少し工夫を加えるだけで、よりオシャレさが増す写真の撮り方に注目してみた。

まずは影だ。天気の良い晴れた日に撮影することで、芝生の上うまく影ができる。さらに、空が影と対比されてより美しく見えるため、ジャンプのポーズは定番だがおすすめしたい。顔が隠れるのも、女子には嬉しいポイントだ。

位置は、サイドに立つ2本の大きな木に、2人が挟まれるくらいを目安に撮ると、うまく撮れるのではないだろうか。

また、写真を撮る人は、ジャンプの高さを強調するために、少し低めの位置から撮影してほしい。

この写真は本学の時計台も映るため、記念写真にもってこいである。



## 時計台をつまんでみる

関西学院のシンボルである中央芝生、そして時計台を取めたオーソドックスな一枚。それに加えて、遊び心満点の一枚を写真に収めてみても良いだろう。

遠近法を使って写真に遊び心を加えるのはインスタグラムの定番テクニックであるが、この写真でも遠近法を利用して時計台をつまんでみた。遠近法を利用した写真を綺麗に撮るためには手前の被写体と奥の被写体の両方にピントを合わせたい。「写ルンです」などの使い捨てカメラを使うと簡単に撮影できる。使い捨てカメラがなくても、iPhoneなどのカメラなら比較的簡単に撮れるだろう。

このような写真を友人と協力して撮れば友情も深まるだろう。また、恋人同士ならば時計台をつまむ代わりに手でハートを作って囲ってみるのも一興だ。カップル思い出の一枚になること間違いなしである。



新聞総部イメージキャラクター  
ユースケ

## 夏休み 特別企画

# 夏の関学

kg\_shinbun



いいね! 19件

kg\_shinbun

#チャペル #法学部 #chapel #god  
#ねむい #お祈りしてた

### 法学部の チャペルで

6



本学西宮上ヶ原キャンパスの法学部棟にある法学部チャペル。法学部生なら、チャペルアワーの際に一度は利用したことがあるのではないだろうか。もともとチャペルという言葉は、キリスト教徒の礼拝堂、祭室の意味を持っていた。起源は、トールの司教マルティヌスの着用していた聖

遺物である衣の安置所を指している。

チャペルはキリスト教主義学校ならではの、インスタ映えスポットである。また、チャペルによって自分の好みのインスタ映えスポットを見つけられると思う。

普段はチャペルに行かない人でも視点を変えて、チャペルに行ってみるのもいいかもしれない。そこには、いつもとは違った景色が広がっている。祈りの場とは違ったチャペルの一面を発見できるだろう。

kg\_shinbun



いいね! 23件

kg\_shinbun

#G号館 #昼下がり #待ち人來ず  
#総部長 #演技下手 #恥ずかしい

### G号館の 渡り廊下で

5



本学西宮上ヶ原キャンパスG号館と国際学部棟の渡り廊下での1枚。セブンイレブンとスターバックスコーヒーの間を抜けるとすぐに現れるモダンな柱。天井から吊り下げられた照明が、郷愁を誘うスポットである。

ずばりシチュエーション

はこうだ。昼食を済ませ、友達との待ち合わせ。いつものように3時限目の授業を一緒に受講するつもりだったが、時間になっても友達はやってこない。スマホを見ることにも疲れ、特にやることもないので柱にもたれてみる。ふと顔を上げると、空には入道雲が浮かんでいた。そうだ、もうすぐ待ちに待った夏休みがやってくる。

最後に、この写真のモデルが芝居下手でおなじみ、弊部の総部長となったことを深くお詫びしたい。

このほかにも、学内には「インスタ映え」するスポットが多く存在します。この特集を機に、本学の魅力が広く伝われば幸いです。

なお、現在新聞総部では、実際のインスタグラムのアカウントは運用していません。部の活動については、Twitterやホームページをご覧ください。

kg\_shinbun



いいね! 29件

kg\_shinbun

#中芝 #beautifulsky #lunchtime  
#おしゃべり #loveyou

### 中央芝生で おしゃべり

4



本学西宮上ヶ原キャンパスの正門を通り、少し歩いたところにある経済学部棟を背景に撮影。青い空と緑の芝生に、キリスト教伝道者でもあったW・M・ヴォーリズ氏が設計したスパニッシュ・ミッション・スタイルの美しい白基調の学部棟が映える。

中央芝生の交差した小道や、周辺の様々な木々の配置などを活かし、インスタグラムの大きな特徴である正方形を生かした構図を考えるのも一つの楽しみ方である。

しかし、経済学部棟の前の道は非常に歩行者の数が多く、写真に歩行者が映り込んでしまいやすい。洗練されたインスタ映えする写真を撮るためには、歩行者の映り込みはないほうがよい。そのため、写真を撮るのは歩行者の少ない始業前や授業中などの時間帯がおすすめです。





### 『剣客商売』 池波 正太郎



「戦国乱世は遠い昔のことなれど……いやまさしく、昨今剣術は商売なり」。時代劇好きの人は聞いたことがある名口上だ。これは、ドラマ「剣客商売」の冒頭部分に使われている。剣客商売は、池波正太郎の作品で、1972年から1989年まで小説新潮で連載された。

時は江戸時代、長く苦しい戦国の時代が終わり、市民は平和な暮らしをしていた。その一方で、戦うことを生業とした武士をはじめとする剣客は、平和な社会もあいつつ自らのアイデンティティを失う危機にあった。しかしながら、武士の魂は剣の道である。剣客の一部は自らの力を生かして剣術道場を開き、藩の剣術指南役になった。今回の小説の主人公である秋山小兵衛・大治郎親子も剣術道場を開く剣客の一員だ。

この小説を書いた池波正太郎は、時代小説の大家で「鬼平犯科帳」や「藤枝梅安」などを執筆している。彼の作品の魅力は、心情描写や時代描写だ。作中では、ほんの小さな動作まで克明と描かれ、その動作によって登場人物の心情が事細かに理解できる。また、食通でもあった池波は料理の描写にも長けており、作中で登場する食事は現在料理本としても出版されている。

「おのれの強さは他人に見せるものではない。おのれに見せるものよ」。作中で小兵衛が発した言葉だ。戦いが終わり、刃を交えることが少なくなった江戸時代、剣の道の真髄を知る男だからその言葉である。基本的に、「この『剣客商売』は短編で構成されている。短い話の中にもさまざまな描写が描かれており、食事風景や当時の風習は江戸時代の実際の風習に即している。また、剣を通じた男たちの人情や義理といったものも見えてくる。

**おすすめのお店探し隊!**  
vol.17.  
「chocolatière DÉLICIES moi」

そこで、チョココレートの商品開発を担当し、新商品の開発、規制品の改善を行っていた。また、仕事をしながら、夜は製菓学校での勉強にも励んでいたそう。その経験と、昔の夢がパティシエールだったということで、チョココレートを目指すようになった。チョココレールになった今、日々幸せを感じているという。まず、スイーツを作る喜び、そして、美味しいという言葉が聞けること。店内には、数多くのスイーツがきれいに陳列されている。見ていただけで、わくわくするような可愛いチョココレートがあふれていた。このお店では、カカオの香り高いヨーロッパ産のクーベルチュールチョココレートを選び、様々なスイーツに使用している。



カラフルで可愛いポンポンショコラ

## 災害に備える

### 大阪府北部地震を受けて

去る6月18日の午前7時58分ごろ、大阪府北部で震度6強の地震が発生した。本学も交通機関の運行停止のため、全日休講となった。

今回の大阪府北部地震は早朝であったため、キャンパス内に学生はあまりいなかった。しかし、地震はいつどこで起こるか誰にもわからない。もし、被災したらどうすればいいのか。

#### 学内で被災した場合

学内で被災した際には、自身の安全を確保するのが第一だ。地震でのケガの原因は、落下物によるものが多い。今回の地震でも、倒れたプロック塀の下敷きとなった小学生児童が命を落としている。

教室内なら、机などの下にもぐり、落下物に備える。落ちてくるのは、割れたガラスの破片のみではない。照明やプロジェクトが落ちてくる可能性もあるのだ。

屋外なら周りに建物のない、ひらけた場所へ移動するべきである。建物の近くだと、割れたガラスが飛散したり、壁が倒れたりする恐れがある。

揺れが収まったら、落ち着いて状況を確認し、避難を始める。SNSで生存を報告するの、安全が確保されてからでも遅くはない。また、写真の撮影は控え、生き残ることを優先しよう。

ほかにも本学HPをはじめ、在学生に配布されている

手帳には、避難地図や対処法が掲載されている。日頃から読んでおき、地震に備えるべきだ。

#### 下宿先で被災した場合

本学生には下宿をしている人も多い。友人に住所を知らせておき、いざという時は助けてもらう。

下宿で被災しても、安全確保が先決だ。家具から離れ、頭を守る。次に、ドアなどの脱出口を確保し、余裕があれば、ガスや電気機器のスイッチを切り、二次災害を防ぐ。

大きな地震の際には、余震にも警戒しなければならぬ。最初は揺れに耐えた家でも、余震で崩れることも往々にしてある。危ないと感じた

#### 日頃の備え

地震には、常日頃から備えることが一番だ。居場所を知らせるライト、手足を守る軍手や靴、助けを呼ぶ道具は絶対に用意しておく。

他にも、非常用持ち出し袋には食料品やラジオなどの情報収集ができるもの、衣類や医療品を詰めておく。携帯電話のための、モバイルバッテリーも忘れてはいけない。

充電が切れたら、携帯は文鎮の代わりにしかならない。中でも、水は特に大事である。「3・3・3の法則」というものを覚えておこうか。それぞれ呼吸は3分、水は3日、食料は3週間途切れると人は

死に至るという教訓だ。1日1Lの飲料水に加えて、トイレや清掃などの生活用水も用意しよう。

地震への備えは、いきなりできるものではない。いつなりどきも、危険が迫ることを忘れずに生きなければならぬ。今回の地震を機に、自分が生き残るのに何が足りないか考えなおそう。(A・M)

#### 避難場所案内

キャンパスごとに避難場所は決まっています。事前に場所をよく確認してください。

##### ■西宮上ヶ原キャンパス

■本部棟・保健館・神学部・文学部・F号館・E号館・社会学部・H号館・第5別館・法学部・経済学部・法科大学院・図書館等の建物にいる場合

中央芝生

■A、B、C号館・学生サービスセンター・商学部・D号館・人間福祉学部・国際学部・G号館・大学院1号館・全学共用棟・総合体育館・学生会館・高等部・中学部等の建物にいる場合

第1フィールド

■男子寮・スポーツセンターの建物にいる場合

第2フィールド



西宮上ヶ原キャンパスの避難MAP  
本学HPや学生手帳で確認できる

#### ☆基本情報☆

- ・営業時間  
11:00~18:00
- ・定休日  
日曜日・月曜日  
不定休あり
- ・住所  
西宮市上甲東園  
3-9-8
- ・TEL  
0798-56-8758



お店の外観

おすすめメニューのポンボンショコラのほかに、焼き菓子やレアスイーツ、ドリンクなど数多くのスイーツを販売している。

お店の名前「DÉLICIES moi」(デリスモア)には、フランス語で「私にとって最高の喜び」という意味がある。ぜひ一度、足を運んで、あなたにとって最高の喜びを味わってみてはいかがだろうか。

第17回目となる今回は、西宮上ヶ原キャンパスからすぐのところにあるチョココレート屋「chocolatière DÉLICIES moi」を紹介する。

オーナの大勝久美子さんは、関西学院大学の卒業生である。ゆかりのあるこの地で、お店を開きたいという思いからこの場所を選んだ。大勝さんは商学部を卒業後、ゴンチャロフ製菓へ就職した。

おすすめメニューのポンボンショコラのほかに、焼き菓子やレアスイーツ、ドリンクなど数多くのスイーツを販売している。

お店で使用しているのは、フルーツ、お酒、ナッツ、香辛料など様々な食材だ。また、旬のフルーツを用いたチョココレートが季節ごとに期間限定で販売される。

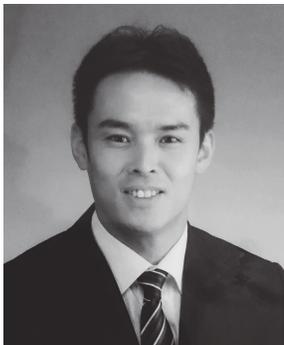
お店の名前「DÉLICIES moi」(デリスモア)には、フランス語で「私にとって最高の喜び」という意味がある。ぜひ一度、足を運んで、あなたにとって最高の喜びを味わってみてはいかがだろうか。



# K.G. studio

今回のK.G.studioはタイムスリップとK.G. PEOPLEです。タイムスリップでは私立帝塚山学院で専任教諭を務める平川遼太郎さんに、K.G. PEOPLEでは神学部学生会執行委員長の潮田真舟さんに話を聞きました。

## タイムスリップ 第20回 平川遼太郎さん (08年卒)



平川 遼太郎 (ひらかわりょうたろう)

1985年、広島県・尾道市生まれ。2008年、関西学院大学文学部文化歴史学科卒。2010年、同大学大学院文学研究科前期課程修了。同年より、私立帝塚山学院高等学校の専任教諭となる。2016年には、本学体育会体操部副幹事、大阪市トランポリン協会理事に就任。

今回は、関西学院大学大学院文学研究科を修了し、現在は本校の提携校である帝塚山学院高等学校の教員として活躍されている、平川遼太郎さんにお話を伺った。

関西学院大学の入学式の日、銀座通りに開かれていた部活ブースで体育会体操部を探し、「明日から練習に参加させて下さい！」と言ったことが、私の大学生活の始まりでした。

入学以前から関西学院大学の体操部の存在は知っており、中高と続けてきた体操を継続させるために、入部しようと決めていました。大学で

はサークルに所属したり、続けてきたものを辞めてしまったりする人が多い中で、大学でも部活に入り、4年間体操と触れ続けたことは、時間が経った今でも、私にとって素晴らしい財産です。

私は今、私立帝塚山学院高等学校の教員として働いています。本校には関西学院大学と提携している関学コースがあり、卒業生として伝えられることがあると思います。現在の職場では、トランポリン部の顧問としており、回る感覚やタイミング、視線の位置などの細かい部分にま

で、自分の経験を指導に活かすことができている。また、キャプテンを務めていた経験から、部員だけでなくOBへの配慮や、部全体の雰囲気をもとめ、良い方向に導くということができています。体操部の活動は週に5日あり、勉強や教職課程、アルバイトなどの両立が難しい面もありましたが、それを乗り越えたからこそ、社会に出たときに

史を仕事にし、伝えていけることに魅力を感じたからです。大学入学当初から教員になることは決めており、1回生から教職課程を履修しました。日本史は覚える科目というイメージが強いですが、日本史にはまだまだ謎が多く、未知の部分がたくさんあります。そのため、史料などを使い、考える科目として生徒の頭に残るような授業を行うようにしています。

教員という仕事に対して、生徒との関わりや、保護者の方の対応などに抵抗がある方

ん(神・3)だ。神学部学生会は神学部生の自治組織で、神学部棟内の学生控室など施設の運営・改善を行っているほか、学内外でイベントの開催にも力を入れている。夏季の宿泊研修や、新月祭での出展など内容は多岐にわたり、なかでも毎年12月のキリスト降誕劇「ページェント」は熱が入る。これらの活動を取りまとめるのが潮田さんだ。

潮田さんは当初、消極的に神学部へ入学したが、教授との出会いなどを通して神学部での学びに魅力を感じるよう

になったそうだ。しかし、神学部生として学生生活を送る中で、神学部の認知度向上の必要性を痛感したという。教職課程などで他学部生と机を並べ学んでみると、「神学部では何をやっているのか」といった声が多く聞かれるため、神学部学生会での活動を通して神学部に関しての情報を積極的に発信していきたいと考えているそうだ。特に、「ページェント」は対外的に公演する機会も多く、社会とのつながりをもつキリスト教の精神や、神学部をPRする場として潮田さん自身も

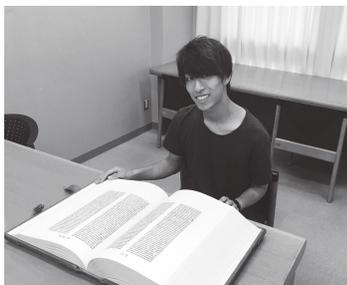
重要視している。今年も本学チャペルや中等部・高等部PTAでの公演の他、宝塚市内で一般公開もされる予定だ。また、潮田さんは神学部学生会での活動の他にも、台湾へ短期宣教に赴くなど、キリスト教の精神を広める活動を精力的に行っている。

潮田さんは、「現在の目標は学生会の活動を円滑に進め、先輩から引き継いだものを引き継ぎつつ自分たちのレガシーを残すこと」と語る。そしてそのレガシーもまた受け継がれ、磨かれていくのだろう。(T・M)

### K.G. PEOPLE

## #30. 神学部学生会執行委員長

潮田 真舟さん (神・3)



皆さんは神学部での学びがどのようなものか知っているだろうか。すぐには思い浮かばない人も多いだろう。このような神学部の認知度不足を原動力に、神学部学生会で活動を行っているのが神学部学生会執行委員長の潮田真舟さん

潮田さんは当初、消極的に神学部へ入学したが、教授との出会いなどを通して神学部での学びに魅力を感じるよう

になったそうだ。しかし、神学部生として学生生活を送る中で、神学部の認知度向上の必要性を痛感したという。教職課程などで他学部生と机を並べ学んでみると、「神学部では何をやっているのか」といった声が多く聞かれるため、神学部学生会での活動を通して神学部に関しての情報を積極的に発信していきたいと考えているそうだ。特に、「ページェント」は対外的に公演する機会も多く、社会とのつながりをもつキリスト教の精神や、神学部をPRする場として潮田さん自身も

重要視している。今年も本学チャペルや中等部・高等部PTAでの公演の他、宝塚市内で一般公開もされる予定だ。また、潮田さんは神学部学生会での活動の他にも、台湾へ短期宣教に赴くなど、キリスト教の精神を広める活動を精力的に行っている。

潮田さんは、「現在の目標は学生会の活動を円滑に進め、先輩から引き継いだものを引き継ぎつつ自分たちのレガシーを残すこと」と語る。そしてそのレガシーもまた受け継がれ、磨かれていくのだろう。(T・M)

### 文芸部 読み切り小説 『子守唄』

三井葉介

新鮮な小ぶりの桃ふたつにゆつと沈んだ私の指の腹は涼しい顔で跳ね返されてうっとりするような瑞々しさと愛おしさを腕に抱いてどうかあなたにあふれるくらい幸せがありますように

国語の授業になるとお前の頭は大きな鉛になって一度額が机にいたらダメだ

支柱を入れたってお前の背中中は曲がるんだ今日は起こしてやらないよ

代わりと言ってはなんだけどチャイムが鳴ったら笑ってやるさ

アルミ缶と一緒に転がってるあなたはほてった頬をフロリングにすりつけて

空飛ぶ夢でも見るの？

あなたがあんまり穏やかな顔をしているから私も真似をしてごらん

カーテンの間から小さな満月が覗いている

いつもソファを独り占めして動物園で見たあざらしみたいだ母さんが言うには会社は学校よりも大変らしい

僕だって疲れてるけど仕方がないから白いシャツを引っ張ってむき出しのおへそを隠してあげた

だいの底に指を入れて

べりりと捲れば酸っぱい香が鼻をつく木目の上に丸まっただいの色が幾つも転がっている

ほとんど俺の仕業じゃない隣で寝転がる薄皮を被ったような頭を眺めてここに帰らなかった日を教えた

澄んだ春空の下でふたりきりあなたの頭をそっと撫でた

私の肌の皺の一本一本まで冷たい石の奥からあたたかい何か伝わる

私は幸せよ

あなたもそうでしょう？

# K. G. History ~introduction~

今回は、関学の歴史を振り返るK.G.Historyの概略編だ。関学生の君も、関学を目指している君も、関学OB・OGのあなたも、今一度歴史を振り返ってみよう。

## 関西学院 創設



1889年9月28日、米国の南メソジスト監督教会から派遣された宣教師ウォルター・ラッセル・ランバスは、神戸市郊外の本原の森(現在の神戸市灘区王子公園)にて、伝道者の育成とキリスト教主義に基づく青少年教育をめざし、関西学院大学の前身となる関西学院を設立した。

関西学院の名の由来は、英和学校と名づけられるミッション・スクールが多いなか、慣習を破って「学院」とし、西のリーダーとなるべく「関西」とした。

当時の学部構成は、普通学部と神学部の2学部のみであった。また、旧関西学院のチャペルは、現在「神戸文学館」として一般の方の見学も可能である。

1912年3月5日には、専門学校令により、高等学部(文科・商科)が開設され、高等教育機関となる。その後、高等学部長であったC・J・L・ベーツが、カレッジモットーとして「Mastery for Service (奉仕のための練達)」を提唱した。また1921年には、高等学部文科を文学部、商科を高等商業学部と名称変更した。

1889

1929

## 西宮 上ヶ原へ移転

原田の森にあった本学は、1929年にその地を去る。神戸市に住む学生が、特に中学部に多いことから、経営面での不安はあった。そのため、中学部だけは原田の森に残すべきという声があがっていた。また、ランバスをはじめとした創立者の精神を尊重すべきではないかという反対意見も多かったという。しかし、原田の森が市街地となり、学び舎として相応しくなくなったことを大きな理由として、移転が決定された。

移転先の候補は二つ。六甲台と、現在キャンパスがある上ヶ原だった。実は、当初有力であったのは、六甲台だったという。上ヶ原が選ばれた理由の鍵を握っていたのは、阪神急行電鉄(現阪急電鉄)専務の小林一三である。小林は、本学が原田の森を去った後の空き地を購入する予定であった。しかし六甲台に移転する場合、購入しないとの意思を示す。これが大きな一因となり、上ヶ原に白羽の矢が立った。

1928年2月に西宮上ヶ原キャンパスの起工式が執り行われた。1929年2月よりトラック、牛馬車で移転を開始、3月31日に移転が完了し、上ヶ原キャンパスが完成した。



## 神戸三田 キャンパス誕生

神戸三田キャンパスは、1995年4月の総合政策学部設置とともに、開設された本学の二つ目のキャンパスとなる。その後、西宮上ヶ原キャンパスに1961年に開設されていた理学部(現在の理工学部)・理学研究科が、神戸三田キャンパスに全面移転された。

設立当時、文部省は、都心部に新大学設立を規制していた。よって、西宮市周辺に新キャンパスを設立することは、困難であった。そのため、千刈キャンプをはじめ、本学が土地を多く所有していた三田市に建てられた。

神戸三田キャンパスには、大学前に駅が建てられるはずだったという幻がある。キャンパスの前に建っている高等学校の敷地に神戸電鉄の駅が建設される予定だった。だが、阪神淡路大震災の影響によって、神戸電鉄が大きな被害を受けたため、駅が建つことはなかった。



神戸三田キャンパスには、大学前に駅が建てられるはずだったという幻がある。キャンパスの前に建っている高等学校の敷地に神戸電鉄の駅が建設される予定だった。だが、阪神淡路大震災の影響によって、神戸電鉄が大きな被害を受けたため、駅が建つことはなかった。

1995

2009

2014  
創立  
125周年

## 聖和大学との合併

学校法人関西学院は、2009年に学校法人聖和大学と合併を果たした。本学教育学部と、西宮聖和キャンパスの誕生である。「聖和」とは、1941年に神戸女子神学校と、ランバス女学院が合併し成立した聖和女子学院に由来し、「聖なる和合(Holy Union)」を意味する。

この神戸女子神学校は1880年から続く、日本初の女性伝道者養成の聖書学校であった。ランバス女学院は、その設立に本学設立者、W・Rランバスの母、M・Iランバスが関わっている。本学とのつながりは、立地のみならずキリスト教に基づく思想にもあった。

現在の西宮聖和キャンパスには、本学教育学部・聖和短期大学・関西学院幼稚園が共存している。特に教育学部生の中からは、教員や保育士を目指しており、聖和短期大学生はほぼ全員が幼稚園教員や保育士になるという。

本紙は西宮聖和キャンパスに毎号設置しているが、果たして読んでいただけているのだろうか。これからは、西宮聖和キャンパスの記事も積極的に書いていくので許してほしい。



## 関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

### ● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・  
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



SANDA AUTOMOBIL SCHOOL  
**SAS**  
SINCE 1963

兵庫県公安委員会指定

**三田自動車学院**

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995  
E-mail:sas.1963@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP  
QRコード